

歴史を学ぶ講座

新・八幡の歴史 29回目

前回は安居神事についてのお話がありました。江戸時代、家康が361通の朱印状を発給して八幡宮領を検地免除、守護不入の地とする見返りに、將軍家の武運長久を祈る祭祀として安居神事が行われた。「12月15日午前2時頃より右の図のように一本の大きな松の木に綱をかけ、かけ声とともに町中を引き進め、放生川をわたり、猪鼻坂をかけ声とともに駆け登り、八幡宮の本殿前に宝樹を立て神事が行われた。」(たんけん八幡より)一番のポイントは本頭神人の財力を減らす、つぶす代わりに名誉を与えるということだったとか。頭役とはそれだけ財を使わなければならない役割ということだ。次回は続きを。

- ① 日時 2021年6月30日(水) 13時30分～
- ② 講師 出口修さん
- ③ 参加費 100円



八幡まるごと館 // 八幡市男山松里12-20

(TEL&FAX) 075-983-3664

(E-MAIL) yawata@marugotokan.net

ホームページは <http://marugotokan.net/>

又は、八幡まるごと館で検索して下さい



●
八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。